

テーマ名称	担任者氏名	開講形態	使用言語
メディア社会学研究	佐藤 信吾	②	日本語

	ゼミナール I	ゼミナール II・III
授業概要	<p>本ゼミナールでは、メディア論の基本的な文献を正確に読む力を身につけるとともに、具体的な社会問題への関心を深めます。私たちはマス・メディアやソーシャルメディア、生成AIといった多様な「メディア」に囲まれて日常生活を送っています。この「メディア」の社会的なあり様に目を向けるのがメディア社会学です。「メディアとは何か」や「メディアは何を描き出しているか」といった根本的な問い合わせとともに、議論を深めていきましょう。</p> <p>文献の読み解きにとどまらず、具体的な社会問題を対象に質的調査を行います。メディアに描かれる「問題」だけを見ていっては、地に足のついたメディア論にはなりません。実際に現地を訪れたり、多様な人々にインタビューしたり、その出来事の歴史的な経緯を振り返ったりしながら、社会に対する関心を醸成しましょう。そのためゼミナールの時間外で、フィールドワークを行う可能性があります。詳細は受講生との話し合いで決めていきます。</p> <p>文献の読み解きと議論を通じて理論的な見方を養うとともに、フィールドが教えてくれることに真摯に耳を傾けましょう。理論と実証の双方を行き来できる、そんな意欲的な皆さんの参加を歓迎します。</p>	<p>ゼミナール II</p> <p>卒業論文を仕上げるために、本ゼミナールでは先端的なメディア論の文献を正確に読んで議論する力と、自らの関心に沿った社会問題を分析する力を養います。もちろん私たちの置かれたメディア環境は刻一刻と変化しますが、そうした変化に右往左往するのではなく、腰を据えた議論を深めましょう。</p> <p>またゼミナール I と同様に、外部の人たちと交流する機会も作る予定です。具体的にはフィールドワークや夏合宿、そして他大学のゼミナールとの合同研究会が含まれます。こちらもゼミナール I と同様に、詳細は受講生と話し合って決めていきます。質的調査を実施する力、その成果を報告する力、そして一連の研究へと仕上げる力を身につけましょう。</p> <p>ゼミナール III</p> <p>いよいよ卒業論文を仕上げる段階に入ります。ここまで培ってきた力を総動員して、自分の関心に基づいた研究を仕上げましょう。毎週のゼミナールでは、研究の進捗を報告してもらいます。他の受講生の意見を取り入れながら、納得のいく卒業論文を仕上げてください。</p>
授業の到達目標	メディア論の基礎的な内容を理解する 質的調査が設計できるようになる 論文執筆に必要な能力を養う	メディア論の先端的な内容を理解する 質的調査の結果を報告できるようになる 卒業論文（課題研究）を完成させる
教科書・参考文献	<p>教科書</p> <p>金菱清, 2024, 『フィールドワークってなんだろう』ちくまプリマー新書.</p> <p>大石裕, 2022, 『コミュニケーション研究』第5版, 慶應義塾大学出版会.</p> <p>参考文献</p> <p>各自の研究テーマに合わせて指示します。</p>	各自の研究テーマに合わせて指示します。

成績評価方法 (評価基準・割合)	毎週の課題への取り組み 70% 授業時の議論への参加 30%	毎週の課題への取り組み 70% 授業時の議論への参加 30%
備考・関連 URL 等	“Capstone Project”の課題について /“Thesis”のみ指導が可能	“Capstone Project”の課題について /“Thesis”のみ指導が可能